

みずほCustomer Desk Report 2022/04/27号 (As of 2022/04/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	127.63
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	127.78	1.0712	136.78	1.2737	0.7177
SYD-NY High	128.23	1.0738	137.50	1.2772	0.7228
SYD-NY Low	127.03	1.0636	135.35	1.2571	0.7120
NY 5:00 PM	127.20	1.0637	135.35	1.2573	0.7125

NY DOW	33,240.18	▲ 809.28	日本2年債	-0.0600	▲1.00bp
NASDAQ	12,490.74	▲ 514.11	日本10年債	0.2500	1.00bp
S&P	4,175.20	▲ 120.92	米国2年債	2.4794	▲14.74bp
日経平均	26,700.11	109.33	米国5年債	2.7369	▲12.04bp
TOPIX	1,878.51	1.99	米国10年債	2.7272	▲8.88bp
シカゴ日経先物	26,090.00	▲ 730.00	独10年債	0.8005	▲4.45bp
ロンドンFT	7,386.19	5.65	英10年債	1.7975	▲3.70bp
DAX	13,756.40	▲ 167.77	豪10年債	3.1140	▲2.70bp
ハンセン指数	19,934.71	65.37	USDJPY 1M Vol	11.65	0.00%
上海総合	2,886.43	▲ 42.09	USDJPY 3M Vol	10.55	0.15%
NY金	1,904.10	8.10	USDJPY 6M Vol	9.95	0.07%
WTI	101.70	3.16	USDJPY 1M 25RR	-0.76	Yen Call Over
CRB指数	302.67	4.13	EURJPY 3M Vol	11.31	0.49%
ドルインデックス	102.30	0.55	EURJPY 6M Vol	10.99	0.40%

東京	東京時間のドル円は127.78レベルでオープン。米債利回りの低下基調や、月末絡みの持ち高調整で一時127.35まで低下。その後、米債利回りが反発したことや、クロス円での円高が一服したことを受けてドル円は一時128.20まで値を上げ、結局127.83レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は127.83レベルでオープン。全般的にドル高・主要通貨安が進行したが、先日から下落基調を続けるクロス円に連れられ、ドル円はじり安となった。127.49円まで切り下げるとやや買い戻しが入り、その後底堅く推移した。127.55レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は128円付近でスタート。コロナウイルスの感染拡大を背景に中国景気減速の懸念が高まる中、アジア時間ではリスクオフの円買いが進み、127.35まで下押し。その後、日本や中国の株式市場が持ち直したほか、渡辺元財務官が「130円や135円が日本経済のにとって極めて悪い水準ではない」と述べたことが買いをサポートし、再び128円台を回復する場面もあったが、その後はクロス円の軟調推移や米金利低下が重しとなり、127.49近辺までじりじりと反落し、127.55レベルでNYオープン。朝方は耐久財受注件数などの米経済指標発表に特段反応せず、海外時間の流れを引き継ぎ、節目手前の127.03まで売り込まれた。しかし、米金利低下が一巡するとドル円は買い戻し優勢となり、127円台半ばまで反発。午後はじり高推移で127.68まで上昇するが、終盤は米IT企業決算で売上高が予想に届かなかったことを受けて下げ幅を拡大する米株を眺めながら127.20まで反落し、そのまま、127.20レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。1.0738までじりじりと上昇するも、その後はユーロクロスの売りに圧迫され、2020年3月以来の水準となる1.067をつけ、1.0672でNYオープン。オープン後も売りが継続し、1.0642まで下落するが、2020年3月23日安値(1.0636)が目先のレジスタンスとして意識される中、この水準で下げ渋る。午後は1.0665まで戻すが、ユーロを買い戻しをサポートする材料が乏しい中、再び下値模索の展開となる。終盤には1.0636をタッチし、結局、1.0637レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・西

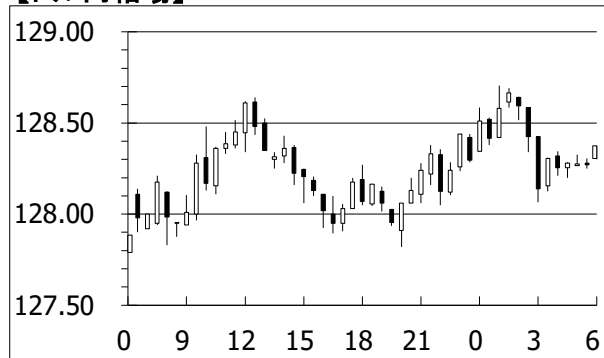
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月26日	08:30	日 失業率	3月 2.6%	2.7%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	3月 0.8%	1.0%
	21:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	3月 1.1%	0.6%
	23:00	米 コンファレンス・消費者信頼感	4月 107.3	108.2
	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 763k	768k

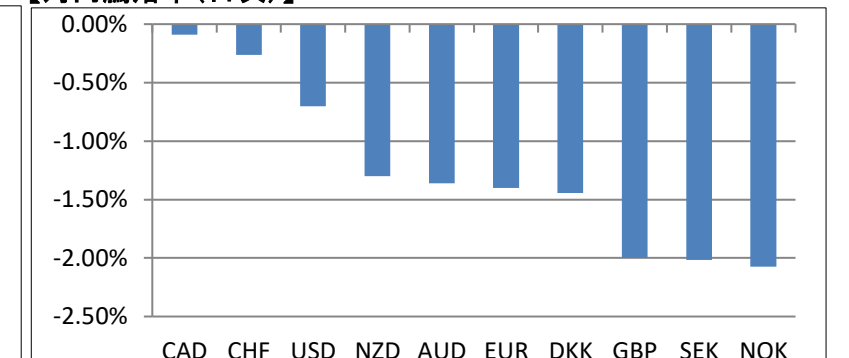
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月27日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	1Q 1.7%/4.6%	1.3%/3.5%
	16:00	欧 レーン・カナダ中銀副総裁 講演	-	-
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	3月 1.5%	2.5%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	3月 -1.0%	-4.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	126.50-128.50	1.0500-1.0700	133.00-136.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は127.78レベルでオープン。昨日のリスクオフの流れや持ち高調整から127円台前半まで下押しも、その後は米金利の反発や渡辺元財務長官の「130円や135円の円安が日本経済にとって悪いことではない」との発言にサポートされ、128.20まで上昇。海外時間に入り、リスクオフの流れは変わらず、クロス円主導でドル円も127円ちょうど付近まで下落。その後は小幅に反発するも、米株の下げ幅拡大もあり半値戻し、127.20レベルでクローズ。本日のドル円は上値重い展開を予想する。本日から開催される日銀政策決定会合を前に、昨日も日銀会合との同期間に連続指値オペの実施を通告しており、日米の金融政策の違いは意識されやすいものの、今週は中国・北京でのロックダウン観測の報道等を背景にリスクオフの流れから、米株や米金利が低下していることを背景に本日のドル円も上値重い展開を予想する。